

# 一般質問

6議員により9質問が行われました。

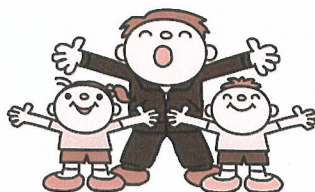
## 江原榮和 議員

### 「いじめ防止対策推進法」の 施行に伴う町の基本方針の 策定状況等について

**議員** いじめ防止対策推進法が、平成25年6月26日公布、9月28日付で施行され、10月上旬文部科学省の有識者会議で国の基本方針がまとめられた。

地方公共団体及び学校でも実情に応じた基本方針の策定を行うこととされており、群馬県教育委員会も独自の基本方針策定を目指している。町の取組み現状を聴きたい。基本方針は策定されているか。各校は具体的施策を講じているか。町内でいじめ事案は発生しているか。

**教育長** 国、県の基本方針を受けて当地の実情に応じた基本方針を策定しようとして現在取り組んでいる段階です。来年2月には、「甘楽町子どもいじめ防止フォーラム」を開催し、いじめ撲滅に向けた運動を展開しています。各校では、子ども同士の良好な人間関係を形成する



ことを目的としたあいさつ運動、いじめ防止ポスターや標語を作成し啓発活動を行っています。小学校では、仲良しアンケート調査や学年の枠を越えた縦割り遊び、仲良し集会等を実施しています。

毎月実施している校長会、教頭会でも「いじめ問題」発生の報告はありませんが、いじめの未然防止に継続した取り組みを行っていきたいと考えています。

## 長岡敬一 議員

### もう一つの「おもてなし」で 「甘・楽」町に 「果樹栽培の奨励を」

**議員** 楽山園など城下町小幡を訪れる観光客は「すばらしい」と言ってくれるでしょう。しかし「また甘楽に」「甘楽はいいから行ってみな」とリピーターは言ってくれませんか。せっかく来てくれた観光客にもう一つに残る「おもてなし」が必要だと思います。

**町長** 町では、果樹栽培について県下でも積極的に新規作物の導入に取り組んできた経緯があり、平成25年3月には「甘楽町果樹産地構造計画」を策定するなどその振興に取り組んでいるところです。新たな果樹の導入について、本年3月には温州みかんを植栽する



など試験的な取り組みも行ってきていますが、導入にあたっては、担い手の確保や育成等、現状での課題を踏まえながら慎重に検討し、取り組んでいく必要があります。当面は、成果等を検証しながら対応していきたいと考えています。



## 中里芳久 議員

### 新年度に向けての 活気ある町づくり について

**議員** 視察研修に行った新潟県聖籠町の安定した町づくりの要因のひとつにスポーツがあります。多目的運動場やトレーニング場の設置など、町民の運動支援・健康増進などにも力を入れていきます。

当甘楽町も何か特色を見つけ、活気ある町づくりを考えてはどうか。例をあげれば、公式戦が可能なグラウンドゴルフ場の建設や各種スポーツ講座など。グラウンドゴルフ人口の増加と地域交流をふまえてご検討願いたい。

**町長** 第5次総合計画においてもグラウンドゴルフ等を通して健康の保持・増進、世代間交流の推進に努めることとしています。しかし、施設を新設するためには、一定規模の用地確保が必要



**議員** もみじ山は、紅葉と城下町小幡が一望できる魅力で訪れる人たちが年々増加してきている。近年植樹もされ、さらに観光スポットとして期待できる。

しかし、ふるさと館側からの登山道脇は荒地が多く、景観を悪くしている。そこで沿道にもみじを植え、もみじの下を歩く壮観さが味わえるようにしたらどうか。また、これまで記念植樹を行ってきたが、今後も計画はあるのか。

**町長** 町では、特色ある観光まちづくりを進めており、かかる道路沿いに紅葉を植栽し、紅葉の魅力や観光客の回遊性を高めるとともに、広く里山地域の保全・整備を図る観点からも、紅葉山や甘楽ふるさと館周辺の環境整備に取り組みたいと考

えています。

記念植樹についてですが、昭和57年から実施してきましたが、その後、植樹地に係る用地の確保等の課題が生じ、平成21年度をもって打ち切り、現在は、それぞれの植樹地における取組みの経緯や特色を生かして整備を図っていくことと考えています。

## 柳澤清次 議員

### 紅葉山登山道脇 もみじの 植樹について



## 山田邦彦 議員

### 安心して子育て できる町のために

**議員** いつも町長は『子どもは町の宝』と表現され、私も大賛成です。そこで、①出産後に実家に帰り子育てをする時「上の子どもを保育園・幼稚園で保育することが出来る」と助かる」という声を聞きました。ぜひ実施を。

②上の子を幼稚園へ送り、帰りに下の子を遊ばせようと、場所がない。幼稚園の近くに、安心して三歳以下の子どもが遊べるところ（公園）を作ることが必要ではないでしょうか。町の考えを伺います。

**町長** ①かんら保育園で実施している「一時保育事業」を利用いただけます。希望される場合、相談していただければできる限りご要望にお応えできるよう適切に対応させていただきます。②





## 山田邦彦 議員

### 職員の待遇改善等について

#### 議員

役場が「ブラック企業にならないよう対策を。①職員のさくら祭り等4大行事へのボランティア参加をやめる。

②臨時職員の時給を上げる(最低千円)・臨時、パート職員

数・年間通しての人は定数増員も含め、正職員にすることが必要と思いますがどうか。

③個人の携帯電話を業務に使うと聞いています。やめるべきと考えます。必要なものは町で貸与するのがいいと思いますがどうか。どのくらいの「公用使用」があるか。

町長 ①町民の皆さんと一体となって元気なまちづくりの活力を生み出すため、引き続き実施していきたいと思えます。

②職種や資格の有無等によ



りおおむね適正と考えています。人数は85人で、すべて正規職員で対応することはできませんが、職員の補充については計画的に採用を考えています。

③どのくらいの公用使用があるかは正確に把握できていません。公用使用は避けるとしても、現在の社会情勢からそれは不可能といえるかと思えます。なお、公用の携帯電話は12台あり、私用には一切使っていません。

#### 議員

甘楽町の観光は、自動車ではなく、歩く速さから馬(自転車)の速さで、堪能できるものと思えます。①「駕籠」や「人力車」「ベロタクシー」「電動アシスト自転車」等を使っていたらどうか。

②経営形態は、公営又は公設民営がいいと思えますがどうか。

③立派にできた楽山園。周辺にはほとんど「店」がありません。中小路駐車場から楽山園の間に「楽市楽座」を連想させるようなスペースを作ってはどうか。

費等の課題があり検討が求められます。電動アシスト自転車は、町で無料貸出しができればと検討を重ねています。

③商工会を中心に民間活力により出店がなされるよう町として側面からの支援を考えています。また、今後もイベント開催に合わせて楽市楽座を続けていきたいと思えます。

町長 ①②駕籠や人力車は、景観にマッチして相乗効果は大きいと思えますが、事業の緊急性等を勘案しながら研究していきたいと思えます。ベロタクシーは、運営形態、購入費及び維持管理



## 山田邦彦 議員

駕籠(かご)や人力車、ベロタクシーを設置しては

本会議の会議録が町ホームページ「甘楽町議会」で見られます

本会議の会議録・議会だよりは、町ホームページの「甘楽町議会」で公開していますのでご覧ください。

<http://www.town.kanra.gunma.jp>

議会を傍聴しませんか

次回定例会(予定)  
3月6日(木)~14日(金)

一般質問は、14日(金)の予定です。



## 山崎愛子 議員

### 防災拠点地域に新設される 統合中学校の屋根に大規模な 太陽光発電装置はどうか

**議員** 災害が起きた際、太陽光発電装置があればどれ程役立つか。防災拠点地域に新設する統合中学校の屋根に大規模な太陽光発電装置を設け、自力で電力が賄える備えが必要である。

新設中学校の屋根にどの程度の発電量の装置を載せるのか、最高の発電量（取り付け可能な屋根すべてに設置した場合の発電量の数値）を知りたい。  
環境省のグリーンニューデール基金（補助金）も利用して推進することが重要である。

**町長** 太陽光発電装置は、容量30kwのパネルを体育館の大屋根に設置します。  
なお、近隣市町村で30kwパネルを載せている学校はなく、適切な規模と考えています。取り付け可能な発



電量は150kwまで可能とのことですが、構造的にも変わってくるので更に経費がかかります。基金を利用して、再生可能エネルギーにするには蓄電池が必要となり、費用対効果やランニングコストを考えた場合、現状の計画を進めていきたいと考えています。その他、非常用発電機、防災備蓄庫、60t防火水槽が2基、浄水装置など防災交流センターと併せ避難場所設備の整った防災拠点としての機能を装備しています。

**議員** 中学生の被災地経験を是非進めるべきである。中学生が被災地の状況を見聞することは欠かせないだろう。多感な中学生時代に身を以て経験すれば町の防災にも大きく寄与するだろうし、思いやり、助け合いの心も育むことができるだろう。当町でも日頃から防災学習を一層重ねていく必要がある。ハード面はもちろん、住民同士の絆や助け合い、思いやりなどのソフト面でも得るものは汲めど尽きない。

**教育長** 現地に行って、語り部たちの体験談などを聞くことも防災の大切さを学ぶ「防災教育の場」として大変意義深いことだと思います。しかし、生徒や保護者の意向も大切にしなければなりません。修学旅行費も自己負担で賄っており、旅行

## 山崎愛子 議員

### 中学校の修学旅行や 宿泊体験で東日本大震災の 被災地訪問の検討はどうか

先に被災地を選定させる強制はできません。震災復興支援は誰に言われるものでもない、自分の意志でその活動に取り組む人間の真摯な行動だと思っています。  
なお、当町におきましても文科省の「生きる力を育む安全教育」を基に各校で防災マニュアルを作成し、取り組んでいるところです。



織田家が小幡藩を治めたのちに統治した山形県の天童市・高島町を訪ね、織田家を観光に生かした町おこしの様子について視察研修を行ってきました。  
最初に訪れた天童市は織田家が幕末まで治めたところ。そのため織田家にまつわる旧跡が各所に残っていて、案内された織田信長を祭る健甞神社、歴史資料館には、織田家に関係する歴史資料が多く展示されていました。将棋の駒づくりは織田家が奨励して始まり、毎年春に城址公園で行われている人間将棋は特に有名であります。また、天童市は女性による消防団活動がさかんに

11月6日・7日

### 移封後の織田家歴史と 女性消防団について研修

山形県高島町・天童市を視察

柳澤清次 委員長

